

名岐道路（一宮～一宮木曾川）計画段階環境配慮書についての留意事項

1 騒音

論 点	関連 ページ
事業実施想定区域内には集落・市街地が存在しており、いずれの案の場合においても交通量及び走行速度が増加すると考えられることから、自動車の走行に伴う騒音による生活環境への影響が懸念される。	P. 28

2 その他

論 点	関連 ページ
配慮書の案について、一般の環境の保全の見地からの意見の聴取を実施したとしているが、法に規定される事項が適切に記載されていない。	P. 4、5、 30、31、 参考資料
本配慮書については、法に規定する「事業実施想定区域及びその周囲の概況」や計画段階配慮事項の検討に係る調査及び予測の結果が具体的に記載されていない。	P. 11～23、 25

令和元年9月12日

愛知国道事務所

岐阜国道事務所

名岐道路の計画について意見聴取を実施 ～地域の皆様のご意見をお聞かせください～

○国土交通省では、名岐道路について、計画段階評価※(概略ルート・構造の検討)を進めているところです。

○対応方針の決定に向けて、地域の皆様及び道路を利用される皆様のご意見を計画へ反映することを目的に、3つの対策案を提示しつつ、アンケート調査等を実施します。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うもの

1. 調査概要(主な調査方法及び実施時期)

(1) アンケート調査(ウェブ/留置方式)

愛知国道事務所及び岐阜国道事務所のホームページに回答ページを開設し、ウェブによるアンケート調査を実施します。

また、一宮市や岐阜市等の庁舎や公共施設において、留置方式によるアンケート調査を実施します。

【実施時期】9月13日(金)～11月13日(水)

(2) アンケート調査(郵送)

周辺地域にお住まいの方から無作為抽出による郵送アンケート調査を実施します。

【郵送時期】10月中旬頃に順次発送致します。

(3) オープンハウスの開催

【実施時期】10月中旬～11月上旬予定(詳細な開催日・場所は別途HPにてお知らせします)

2. 配布資料

資料1:意見聴取の調査概要

資料2:アンケート調査票

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮市政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 中部地方整備局

愛知国道事務所 計画課 TEL 052-761-1191(代表)

副所長 坂川 昌義 計画課長 柴田 康晴

岐阜国道事務所 計画課 TEL 058-271-9811(代表)

副所長 大島 常生 計画課長 林 真弘



調査対象	調査方法
周辺にお住まいの方	1) 愛知国道事務所ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/) 岐阜国道事務所ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/) にてアンケート回答 ※関係市町のHPにあるバナーからも回答が出来ます
	2) 一宮市・岐阜市等の周辺の市役所・町役場、公共施設等へ設置しているアンケート調査票に回答 ※ポスター等からwebページへアクセスして回答出来ます ※アンケート調査票は順次設置致します
	3) 一宮市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、清須市、江南市、名古屋市西区、岐阜市、各務原市、笠松町、岐南町にお住まいの方に送付するアンケート調査票に回答 ※同封用紙のQRコードからアクセスしてwebでの回答も可能です ※各ご家庭へ順次発送いたします
	4) 一宮市において、オープンハウスを開催し、インタビュー形式で調査票に回答 【実施日時】10月中旬～11月上旬を予定 (詳細は別途HPにてお知らせします。)
道路利用者の方	1) 愛知国道事務所ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/) 岐阜国道事務所ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/) にてアンケート回答 ※関係市町のHPにあるバナーからも回答が出来ます
	2) 近隣SA/PAにおいて、インタビュー形式で調査票に回答 【実施箇所】 川島PA、養老SA、大山田PA、尾張一宮PA、東郷PA

アンケート調査について

本アンケート調査は、名岐道路の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域にお住まい皆様のご意見をお聞かせ頂くために実施するものです。

名岐道路周辺地域における、地域の皆様が日ごろ感じられている、道路交通面での課題や、地域に求められる道路の役割、対策案（構造）の比較・検討に際しての重視すべき項目・配慮すべき項目等について、ご意見を伺うものです。ご協力のほどお願い申し上げます。

本調査は、一宮市、岐阜市、岐南町、笠松町、名古屋市（西区）、北名古屋市、清須市、稲沢市、江南市、岩倉市、各務原市の世帯を対象にアンケート用紙（同封の返信用はがき）を送付し、ご回答をお願いしております。

本調査票を郵送している個人情報（世帯主の氏名・住所等）については、住民基本台帳法に基づき、上記地域の地方公共団体から提供いただいており、本調査以外には使用せず、使用后には破棄します。

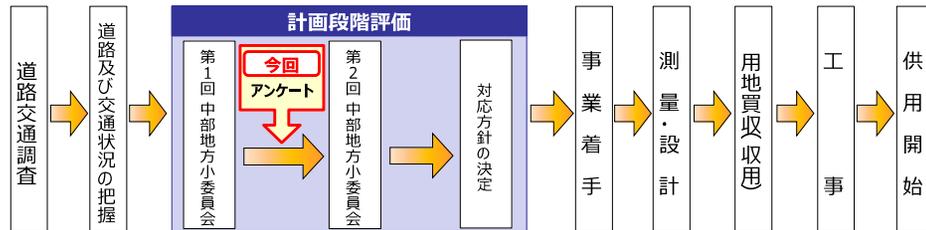
ご回答いただいた内容は、国土交通省 愛知県道事務所 で集計を行います。

※地域の現状について、地域にお住まいになる皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、返信用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

本事業は、環境影響評価法（平成9年法律第81号）に基づく計画段階環境配慮書（配慮書）の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

道路事業の流れ（計画段階評価の流れ）

- 計画段階評価では、地域の皆様のご意見を伺いつつ、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- 今後、地域の皆様のご意見を基に、道路整備の方針（政策目標の設定、対応方針の検討）を検討して参ります。



※必要に応じ、都市計画決定や環境影響評価の手続きが実施される

アンケートの答え方

<回答方法について>

- P.3~7を見ながら、回答してください。回答方法は次のいずれかをお願いします。

回答方法①

アンケート用紙（同封の返信用はがき）に記入の上、ポストへ投函してください。



回答方法②

下記のQRコードより、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



<返信用の郵便はがきの記入例>

- 選択回答の設問は、あてはまる番号に**1つだけ**○（マル）をつけてください。
- 問2、問3は4段階評価の質問です。各項目について**1つずつ**○（マル）をつけてください。
- 問4、問5の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書き下さい。

<< オモテ面 >>

郵便はがき

4 6 4 8 7 9 0

名古屋市千種区池下2-62
国土交通省 中部地方整備局
愛知県道事務所 計画課



<< ウラ面 >>

問2. 名古屋～岐阜間（一宮地区）の道路には、どのような交通課題があると思います。次の①～⑦の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。その他ご意見があれば、⑧にご記入ください。【4段階評価】 1.そう思う 2.やや思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない

交通に関する課題	あなたの評価の程度			
① 高速道路利用時の迂回感	1	2	3	4
② 高速道路利用時に渋滞等により時間が読めない	1	2	3	4
③ 国道22号の渋滞等による速達性の低さ	1	2	3	4
④ 国道22号の交差道路の渋滞等による速達性の低さ	1	2	3	4
⑤ 国道22号の信号が連続し、停発車を繰り返すことによる走りにくさ	1	2	3	4
⑥ 国道22号の交通事故が多い等、安全性の低さ	1	2	3	4
⑦ 国道22号の交差道路の交通事故が多い等、安全性の低さ	1	2	3	4
⑧ その他（自由回答）				

問3. この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に重要だとおもうことは何ですか。次の①～⑦の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。その他ご意見があれば、⑧にご記入ください。【4段階評価】 1.特に重視すべき 2.やや重視すべき 3.あまり重視すべきではない 4.重視すべきではない

交通に関する課題	あなたの評価の程度			
① 迂回感の無い高速道路ネットワークの実現	1	2	3	4
② 高速道路へのアクセス性の向上	1	2	3	4
③ 時間が読める高速道路の定時性・信頼性の向上	1	2	3	4
④ 高速道路の渋滞の改善	1	2	3	4
⑤ 国道22号の渋滞の改善	1	2	3	4
⑥ 国道22号の信号による停発車がない等、走行性の向上	1	2	3	4
⑦ 国道22号の交差道路の渋滞の改善	1	2	3	4
⑧ 国道22号の交通事故が少ない等、安全性の向上	1	2	3	4
⑨ 生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	1	2	3	4
⑩ 自然環境（動物等）に配慮し、影響が少ないこと	1	2	3	4
⑪ 工事中の地域への影響（交通規制等）が少ないこと	1	2	3	4
⑫ 道路をつくる費用が安いこと	1	2	3	4
⑬ その他（自由回答）				

問4. その他、配慮すべき事項についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

問5. その他、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

問1-1. ご回答された方について教えてください【記入または番号を選択】

住所	性別	年齢	職業
お住まいの市を選択してください ①一宮市 ②岐阜市 ③岐南町 ④笠松町 ⑤名古屋市（西区） ⑥北名古屋市 ⑦清須市 ⑧稲沢市 ⑨江南市 ⑩岩倉市 ⑪各務原市 ⑫その他（ ）	①男性 ②女性	1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上	1.会社員 2.自営業 3.公務員 4.学生 5.パート・アルバイト 6.専業主婦 7.その他（ ）

※○丁目以下は記載しないでください

問1-2. 自動車を利用する頻度を教えてください【1つ選択】

頻度	回数
① ほぼ毎日	2.週に数回程度
④ ほぼ利用しない	5.利用したことがない

問1-3. 国道22号の利用頻度を教えてください【1つ選択】

頻度	回数
① ほぼ毎日	2.週に数回程度
④ ほぼ利用しない	5.利用したことがない

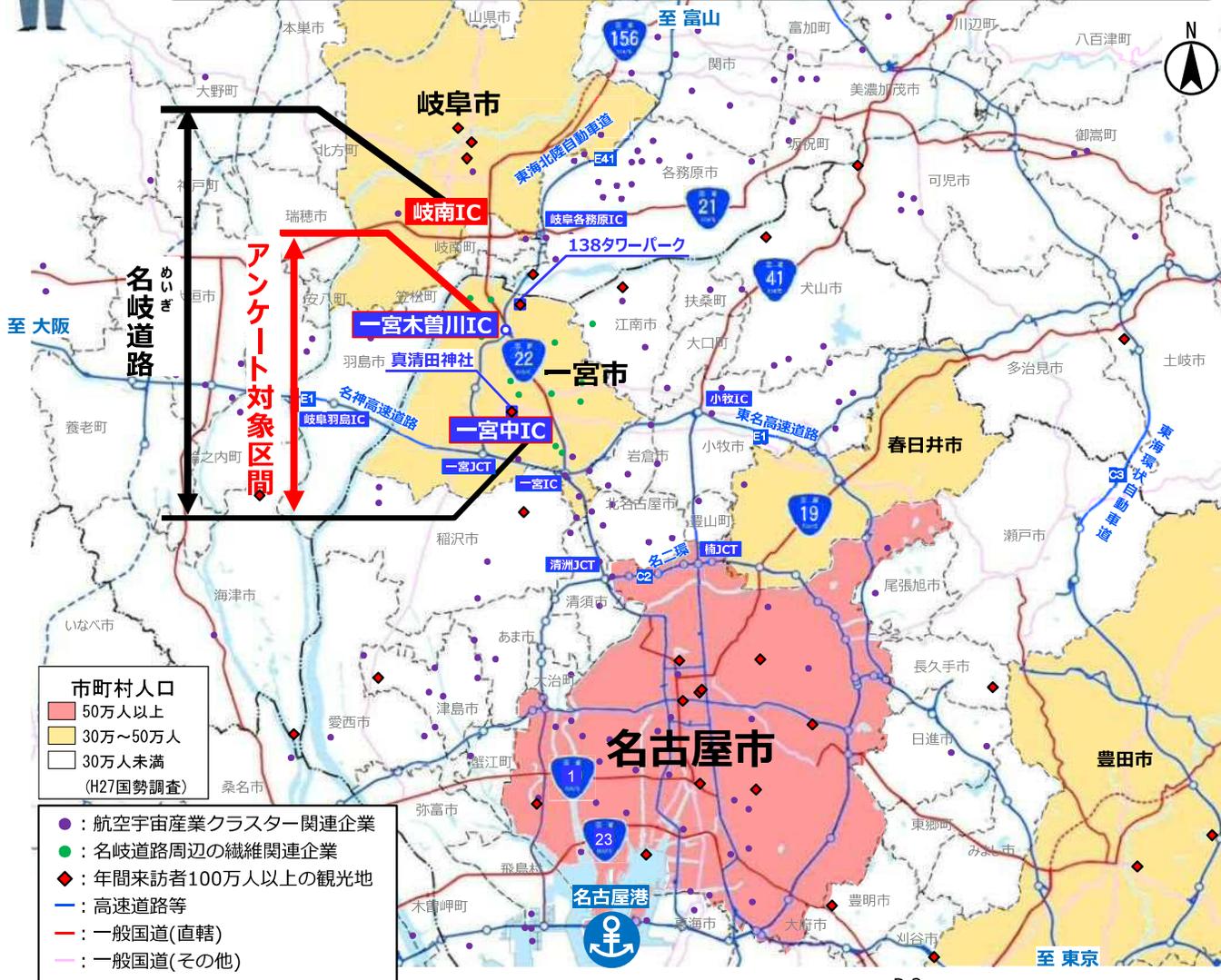
問1-4. 国道22号を利用する際の運転目的を教えてください【1つ選択】

目的
① 通勤・通学 ② 通院 ③ 家事・買物 ④ 仕事（営業・運送等） ⑤ 観光・レジャー ⑥ その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

新たな道路を計画している沿線地域の特長

- 名古屋都市圏の中で、「岐阜市・一宮市・名古屋市」は人口が集まる地域です。
- 国道22号と並行する名岐道路の周辺の産業は、「飛行機の部品等を製造する航空宇宙産業」や「全国トップクラスのシェアを誇る衣類生地など作る繊維産業」が盛んな地域です。
- この地域には、年間来訪者が100万人を超える観光地が多く存在しています。



特長①

名古屋都市圏の中で「岐阜・一宮・名古屋」は人口の集積エリア

特長②

国道22号と並行する名岐道路の周辺地域は航空宇宙産業の関連事業所が多数立地



アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 パンフレットより

特長③

国道22号と並行する名岐道路の通る一宮市は繊維産業の製造品出荷額等が全国2位



特長④

138タワーパークや真清田神社など、年間来訪者100万人以上の豊富な観光資源が存在



138タワーパーク

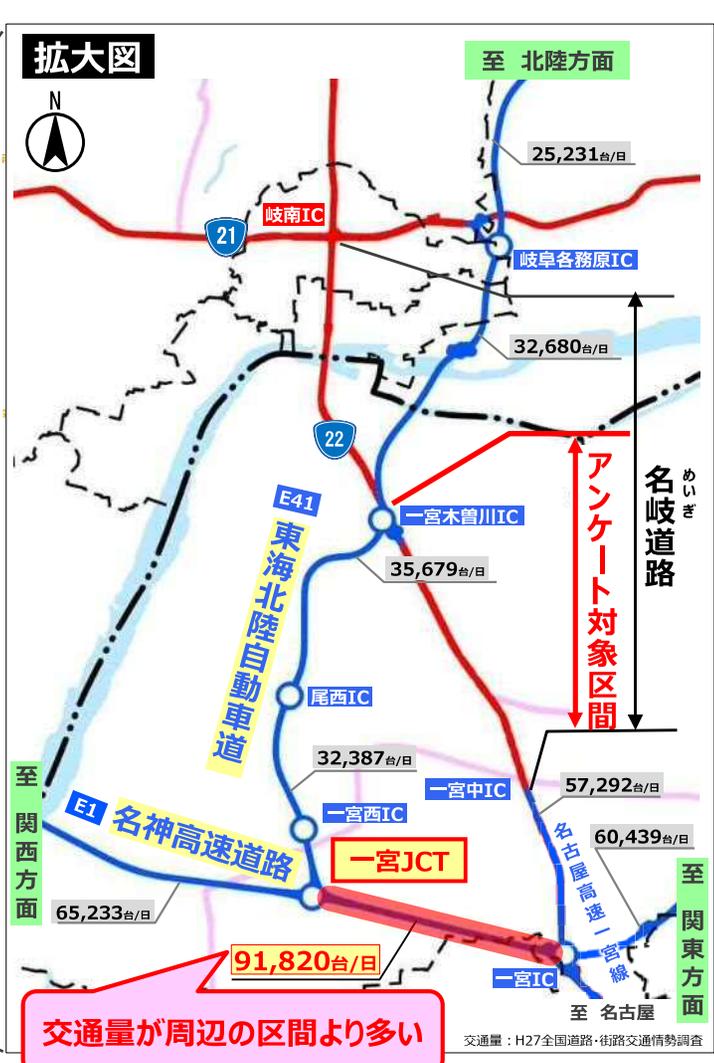
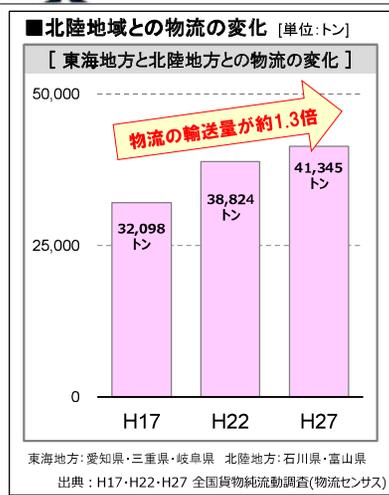


真清田神社

東海・北陸地方周辺の高速道路と主要拠点



- ・近年、東海地方と北陸地方は物流等のモノの動きが活発になってきています。また、関東地方や関西地方等の東西方向を行き来する交通も多い状況です。
- ・これらの動きを支える高速道路（東海北陸自動車道と名神高速道路）が交差する一宮JCT付近では、周辺の区間に比べ特に交通量が多い状況です。
- ・また、観光面では、各県には豊富な観光資源が多数存在し、海外からの観光増加を推進するための「昇龍道プロジェクト」などの取り組みを、東海地方と北陸地方で協力し推進しています。



「地域の交通課題」と「課題を解決するための目標」について

課題① 高速道路の利用時間が読めない・遠回りとなる経路



岐阜や一宮で製造された航空宇宙産業や繊維産業等の部品や製品は、名古屋港・中部国際空港まで運ばれます。しかし、その経路となる岐阜と一宮を結ぶ高速道路は国道22号等の一般道路を通る時より遠回りしないといけません。また、高速道路のルート上には「北陸と中部をつなぐ東海北陸自動車道」と「関西と関東をつなぐ名神高速道路」を結ぶ重要な区間があり、渋滞が発生しやすく、移動時間が読めません。



目標

都市間の物流・人流アクセス性向上
産業活性化支援

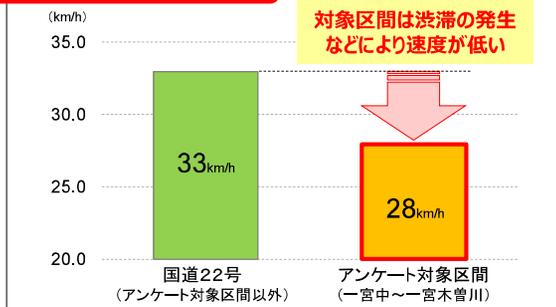
課題② 渋滞



岐阜・一宮・名古屋は、日常的な利用として車を使った移動が多いです。そのため、一宮市内の国道22号には、市内を利用する車と岐阜や名古屋等に移動する車が多く集まり、渋滞しています。



国道22号の走行速度



出典：H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時走行速度(上下線平均)

目標

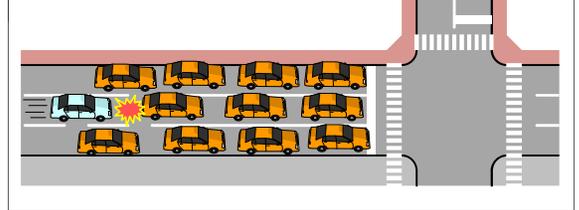
交通の円滑化

課題③ 事故

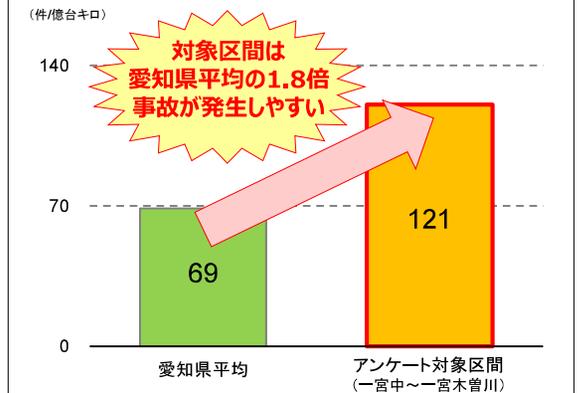


一宮市内の国道22号は、渋滞で並んでいる車への追突事故が多く発生しています。

死傷事故のイメージ



国道22号における死傷事故率※

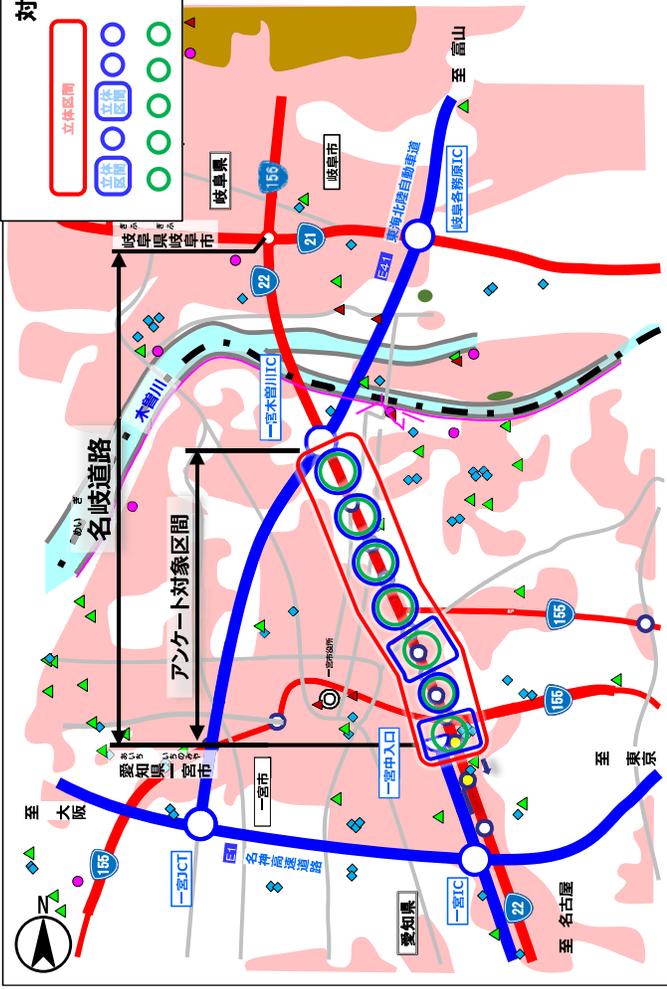


目標

交通安全の確保

地域の交通課題を解決するための対策案について

・国道22号と並行する名岐道路の沿道は、まちづくりや市街化が進んでいるから、現道上での対策をいくつか考えました。



対策案 凡例

- 案1 高速道路整備案
- 案2 国道22号部分立体案
- 案3 国道22号平面8車線案

高速道路等	4車線以上、2車線
一般国道	—
その他の道路	—
主要渋滞箇所	○
事故危険箇所	●
重要な樹木種 (天然記念物)	▲
重要な樹木種 (巨樹・巨木林)	◆
重要な樹木種 (特定樹木群)	●
人と自然との触れ合いの活動の場	●
景観資源	●
眺望点	▲
集落・市街地	■

渋滞区間 (国道22号) ↑

※2018.3 平日のETC2.0データより
集行運送20mm/1km以上の箇所

案1 高速道路整備案



・高速道路として整備することで「地域内を利用する交通」と「通過する交通」を分散する案です

案2 国道22号 部分立体案



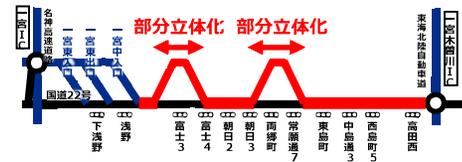
・信号交差点が並ぶ区間を部分的に立体構造にすることで交差点を直進する交通を円滑にする案です

案3 国道22号 平面8車線案



・工事中の現道交通への影響を考慮しつつ、車線を拡幅する案です

地域の交通課題を解決するための対策案の比較

		【案①】高速道路整備案	【案②】国道22号 部分立体案	【案③】国道22号 平面8車線案
評価項目	評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 全線立体構造で整備し、地域交通と通過交通を分化することで、産業・物流拠点間の高速アクセシビリティ・時間信頼性を向上させるとともに現道の渋滞や事故に対する課題解決を図る案 ※高速道路を利用するには、料金がかかる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 信号が連続する区間(富士3・両郷町～常願通7)において、部分的に立体構造で整備し、渋滞や事故に対する課題解決を部分的に図る案 	<ul style="list-style-type: none"> 全線で現道を拡幅し、工事中の現道交通への影響を考慮しつつ、渋滞や事故に対する課題軽減を図る案
		約6 km	約6 km (部分立体:約2km)	約6 km
				
「政策目標」に対する評価	都市間の物流・人流アクセシビリティ向上／産業活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> 都市間を結ぶ高速道路の距離が短くなる 《移動距離(岐阜市役所～一宮IC): 約30km ⇒ 約20km》 道路の移動時間が読め、信頼性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 都市間を結ぶ高速道路の距離は変わらない 《移動距離(岐阜市役所～一宮IC): 約30km ⇒ 約30km》 	<ul style="list-style-type: none"> 都市間を結ぶ高速道路の距離は変わらない 《移動距離(岐阜市役所～一宮IC): 約30km ⇒ 約30km》
	交通の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> 都市間の高速道路の移動において、渋滞箇所を通過しなくなるため時間信頼性が向上する 《渋滞ボトルネック箇所通過延長(一宮IC～一宮IC): 約5km ⇒ 0km》 一宮ICや一宮木曾川ICのジャンクション化により、効率的な高速道路ネットワークの利用を可能とする 	<ul style="list-style-type: none"> 都市間の高速道路の移動において、東海北陸道から国道22号へ交通がやや転換するため、時間信頼性はやや向上するものの渋滞ボトルネック箇所は残存する 《渋滞ボトルネック箇所通過延長(一宮IC～一宮IC): 約5km ⇒ 5km》 	<ul style="list-style-type: none"> 都市間の高速道路の移動において、東海北陸道から国道22号へ交通が若干転換するため、時間信頼性は若干向上するものの渋滞ボトルネック箇所は残存する 《渋滞ボトルネック箇所通過延長(一宮IC～一宮IC): 約5km ⇒ 5km》
	交通安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> 国道22号の通過交通と地域交通を分離しつつ、交通容量を最も拡大する事で、国道22号・周辺道路等の走行速度が最も向上する 《アーク対象区間の走行速度(一宮～一宮木曾川): 22km/h^{※1} ⇒ 80km/h^{※2}》 インターチェンジの設置により、地域交通(名古屋方面)の高速道路への転換を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> 国道22号の信号交差点の一部を回避しつつ、交通容量を拡大する事で、国道22号・周辺道路等の走行速度がやや向上するものの効果は限定的 《アーク対象区間の走行速度(一宮～一宮木曾川): 22km/h^{※1} ⇒ 41km/h^{※3}》 	<ul style="list-style-type: none"> 国道22号の交通容量を拡大する事で、国道22号・周辺道路等の走行速度が若干向上するものの現状とほぼ変わらない 《アーク対象区間の走行速度(一宮～一宮木曾川): 22km/h^{※1} ⇒ 34km/h^{※4}》
	生活環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 一宮市をはじめとする周辺地域の渋滞が緩和する事で交通事故件数が最も削減する 	<ul style="list-style-type: none"> 一宮市をはじめとする周辺地域の渋滞がやや緩和する事で交通事故件数がやや削減するものの効果は限定的 	<ul style="list-style-type: none"> 一宮市をはじめとする周辺地域の渋滞が若干緩和する事で交通事故件数が若干削減するものの効果は限定的
「配慮すべきポイント」に対する評価	生活環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度が向上することに伴い、自動車排ガス量が低下するため、生活環境(大気等)の影響は最も小さくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度が向上することに伴い、自動車排ガス量が低下するため、生活環境(大気等)の影響はやや小さくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度が若干向上することに伴い、自動車排ガス量が低下するため、生活環境(大気等)の影響は若干小さくなる
	自然環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 概ね既存の道路用地内で施工が可能のため、自然環境は大きく変化しない ※動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避している 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね既存の道路用地内で施工が可能のため、自然環境は大きく変化しない ※動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避している 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の道路用地内で施工が可能のため、自然環境は変化しない ※動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避している
	工事中の影響	<ul style="list-style-type: none"> 全線を立体構造とする整備(規制範囲が広く、大規模構造物が多くある)のため、国道22号の車線を規制する工事の期間が最も長い等、現道交通への影響が最も大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な立体構造等の整備(規制範囲が広く、大規模構造物が部分的にある)のため、国道22号の車線を規制する工事の期間がやや長い等、現道交通への影響がやや大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅する整備(規制範囲は広いが、大規模構造物がない)のため、国道22号の車線を規制する工事の期間が最も短い等、現道交通への影響が最も少ない
その他	経済性	建設に要する費用が安い 約1,600億円～1,960億円	約300億円～360億円	約100億円～120億円

※1 (現況): H27全国道路・街路交通情勢調査(以下、「H27道路交通センサス」)における混雑時の速度 ※2 (専用部案): 隣接区間(名古屋高速一宮線)の規制速度80km/hとする。 ※3 (部分立体案): 部分立体区間を60km/h、その他区間をH27道路交通センサスにおける非混雑時の速度 ※4 (平面8車線案): H27道路交通センサスにおける非混雑時の速度

郵便はがき

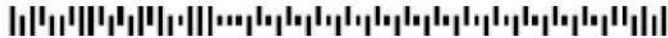
料金受取人払郵便

4 6 4 8 7 9 0



名古屋市千種区池下2-62
国土交通省 中部地方整備局
愛知国道事務所 計画課 行

差出有効期間
令和元年
11月13日まで
(切手不要)



問1-1. ご回答された方について 教えてください【記入または番号を選択】	住所	お住まいの市を選択してください 1.一宮市 2.岐阜市 3.岐南町 4.笠松町 5.名古屋市(西区) 6.北名古屋市 7.清須市 8.稲沢市 9.江南市 10.岩倉市 11.各務原市 12.その他()
		それ以降の住所を記載してください () ※○丁目以下は記載無しで構いません
	性別	1.男性 2.女性
	年齢	1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上
職業	1.会社員 2.自営業 3.公務員 4.学生 5.パート・アルバイト 6.専業主婦 7.その他()	
問1-2. 自動車を利用する頻度を 教えてください【1つ選択】	1.ほぼ毎日 2.週に数回程度 3.月に数回程度 4.ほぼ利用しない 5.利用したことがない	
問1-3. 国道22号の利用頻度を 教えてください【1つ選択】	1.ほぼ毎日 2.週に数回程度 3.月に数回程度 4.ほぼ利用しない 5.利用したことがない	
問1-4. 国道22号を利用する際の 運転目的を教えてください【1つ選択】	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買物 4.仕事(営業・運送等) 5.観光・レジャー 6.その他()	

問2. 名古屋～岐阜間(一宮地区)の道路には、どのような交通課題があると思いますか。
次の①～⑦の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。
その他ご意見があれば、⑧にご記入ください。
【4段階評価】 1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない

交通に関する課題	あなたの評価の程度			
①高速道路利用時の迂回感	1	2	3	4
②高速道路利用時に渋滞等により時間が読めない	1	2	3	4
③国道22号の渋滞等による速達性の低さ	1	2	3	4
④国道22号の交差道路の渋滞等による速達性の低さ	1	2	3	4
⑤国道22号の信号が連続し、停発車を繰り返すことによる走りにくさ	1	2	3	4
⑥国道22号の交通事故が多い等、安全性の低さ	1	2	3	4
⑦国道22号の交差道路の交通事故が多い等、安全性の低さ	1	2	3	4
⑧その他(自由回答)				

問3. この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に重要だと思うことは何ですか。
次の①～⑬の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。
その他ご意見があれば、⑭にご記入ください。
【4段階評価】 1.特に重視すべき 2.やや重視すべき 3.あまり重視すべきではない 4.重視すべきではない

交通に関する課題	あなたの評価の程度			
①迂回感の無い高速道路ネットワークの実現	1	2	3	4
②高速道路へのアクセス性の向上	1	2	3	4
③時間が読める高速道路の定時性・信頼性の向上	1	2	3	4
④高速道路の渋滞の改善	1	2	3	4
⑤国道22号の渋滞の改善	1	2	3	4
⑥国道22号の信号による停発車がない等、走行性の向上	1	2	3	4
⑦国道22号の交差道路の渋滞の改善	1	2	3	4
⑧国道22号の交通事故が少ない等、安全性の向上	1	2	3	4
⑨国道22号の交差道路の交通事故が少ない等、安全性の向上	1	2	3	4
⑩生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと	1	2	3	4
⑪自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと	1	2	3	4
⑫工事中の地域への影響(交通規制等)が少ないこと	1	2	3	4
⑬道路をつくる費用が安いこと	1	2	3	4
⑭その他(自由回答)				

問4. その他、配慮すべき事項についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

問5. その他、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。